

児童担当 保育士A より

保育士としてグループ療育に携わっています。療育と聞くとピンッと来ないかもしれませんが、保育士が中心となって心理士、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士などの専門職員と連携を取りながら、少人数での活動や遊びを通して生活習慣や社会性、運動、感覚などの発達を促す指導を行っています。

様々なお子さんが午前または午後に来所され、年齢や指導内容の違うグループ運営を日々行うことは大変ですが、たくさんのお子さんに出会い、個々の成長や変化を身近で感じる事ができ充実した日々です。

お子さんや家族の方へのより良い支援を考える中で迷いや悩みはありますが、保育士の視点に加え各専門職からの視点が加わることで視野が広がり、療育の奥深さを実感することができます。

児童担当 保育士B より

総合福祉センターでは、発達に遅れがある子どもたちのグループ療育を行っています。週1回や月2回通って来る子ども達と一緒に、トランポリンや水遊びをして体を動かしたり、楽器を鳴らして遊んだり、それぞれのグループに合わせた様々な活動をしています。

活動の中で一人ひとりの子どもの得意な面が発揮できるよう、また子ども同士で一緒に過ごすことでいろいろな経験を重ねていけるよう、職員みんなで話し合いながら日々の運営を行っています。

子ども達の一つ一つの小さな変化や成長に触れる度に、この仕事のやりがいを感じることができます。